

平成28年度ふくおか「ふるさと寄附金」 活用状況報告書

ふるさと寄附金へのご協力ありがとうございました。



この度は、多くの皆様から多大なご寄付を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成28年度は、延べ995人の方から13,897,219円のご寄付をいただきました。

今回、寄附金の活用状況について、ご報告させていただきます。

「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して、県民生活「安定」「安全」「安心」の向上に全力を尽くしてまいりますので、今後とも福岡県を応援していただきますようお願いいたします。

福岡県知事 小川 洋

平成28年度にいただきました寄附金の受け入れ状況は、下表のとおりです。

| | 活用方法 | 件数(件) | 寄付額(円) |
|----|--|-------|------------|
| | 特に選択しない(下記の10事項全般) 「県民幸福度日本一」の福岡県づくりに向けた全般的な取組み | 267 | 3,178,979 |
| 1 | 活力にあふれ成長力に富んだ経済と雇用の創出 | 57 | 570,000 |
| 2 | 災害や犯罪、事故がなく、安全で安心して暮らせること | 81 | 905,000 |
| 3 | 高齢者や障がい者が安心してはつらつと生活できること | 4 | 40,000 |
| 4 | 女性がいきいきと働き活躍できること | 43 | 430,000 |
| 5 | 安心して子育てができること | 167 | 1,880,000 |
| 6 | 子ども・若者が夢を抱き、将来に向かってはばたけること | 123 | 1,280,240 |
| 7 | 誰もが元気で健康に暮らせること | 66 | 700,000 |
| 8 | 心のぬくもりと絆を実感できる社会であること | 83 | 830,000 |
| 9 | 環境と調和し、快適に暮らせること | 46 | 463,000 |
| 10 | 豊かな文化を楽しみ、幅広い分野の国際交流を実感できること | 58 | 3,620,000 |
| | 合計 | 995 | 13,897,219 |

寄附金の活用状況について、一例をご紹介します。



1. 活力にあふれ成長力に富んだ経済と雇用の創出

◆農林水産物のブランド力を強化

県独自品種の開発、安定生産のための技術指導、機械・施設の整備、農林水産関係団体と一体となったPRなどの販売促進活動を通じ、「ラー麦」「博多和牛」などを中心に、ブランド化推進品目の認知度向上に取り組みました。



◆県内中小企業の特区関連設備投資を支援

環境を軸とした産業の国際競争力の強化を図り、アジアから世界に展開する産業拠点を目指す「グリーンアジア国際戦略総合特区」を強力に推進するため、国の支援制度を活用して特区事業を進める企業のほか、それらの企業に部品等を供給する県内中小企業の設備投資を支援しています。

2. 災害や犯罪、事故がなく、安全で安心して暮らせること

◆暴力団排除対策の推進

公共及び民間事業からの暴力団排除、中高生に対する暴力団排除教育など、社会から暴力団を排除するための取組を推進しました。

また、暴力団の人的基盤を切り崩すため、暴力団離脱者を継続雇用した企業に給付金を支給するなど、暴力団員の離脱や社会復帰を促進しました。



◆避難行動要支援者の避難支援

自主防災組織等モデル地区の住民に対して研修会を開催しました。

また、市町村が選定するモデル地区に対し、ワークショップ、災害図上訓練等を通じ、高齢者や障がい者など避難行動要支援者の「個別避難支援計画」策定を支援しました。



3. 高齢者や障がい者が安心してはつらつと生活できること

◆障がいのある方の収入向上を支援

障がい者施設で働く障がいのある方がつくる「まごころ製品」を広く知っていただくため、新たに「まごころ製品」のロゴマークを作成しました。

また、百貨店での大規模な展示体験販売イベントや「まごころ製品」美味しいものグランプリを開催しました。



4. 女性がいきいきと働き活躍できること

◆女性の活躍推進

女性活躍の観点から企業の問題解決の方法を提案する「よくわかる女性活躍支援の手引き」を作成しました。

また、将来の地域のリーダーとなる女性を育成するため「女性による元気な地域づくり応援講座」を開催しました。



5. 安心して子育てができること

◆子ども医療費の助成

市町村が行う乳幼児及び子どもに対する医療費の公費負担に対して助成を行っています。

平成28年10月には制度改正を行い、対象年齢を入院・通院とも小学校就学前から小学校6年生まで拡充しました。

◆周産期医療対策の推進

救急搬送される妊婦を円滑に搬送先医療機関に受け入れるため、調整役として助産師・看護師を総合周産期母子医療センターに配置するなど、安心して子どもを産むことができる医療環境を整備しています。



6. 子ども・若者が夢を抱き、将来に向かってはばたけること

◆学力アップの推進

小学校5年生、中学校2年生を対象とした学力調査の実施・検証、学力向上推進強化市町村の指定、学力向上のための非常勤講師派遣などを実施しました。

また、小学校4年生～中学校3年生を対象とした国語・算数・数学に関する活用力育成教材集を作成・配布するとともに、診断テストを実施し、併せて、外部人材を活用した学力向上のための土曜授業を実施した市町村へ助成を行いました。

◆子どもの体力の向上

先進的なスポーツ医・科学や栄養学等の知見を取り入れた「活動プログラム」の研究開発を行うとともに、中・高等学校の運動部活動への外部指導者の派遣など、体力向上に向けた総合的な取組を進めています。



7. 誰もが元気で健康に暮らせること

◆子ども支援オフィスの設置

経済的にお困りで様々な悩みや不安を抱えておられる子育て世帯に対してワンストップで対応するため、県内4か所に「子ども支援オフィス」を設置しました。

支援員が積極的にご家庭を訪問して相談を受け、相談者が抱える問題に応じて個別支援計画を作成し、関係機関と連携しながら支援を行っています。

◆中小企業や市町村が行う健康づくりを推進

中小事業所に対する健康づくりアドバイザーの派遣を強化し、事業所の健康づくりを支援するとともに、健康づくりに関するイベント等において、健康測定機器を活用する市町村を支援することにより、県民のみなさんの自主的な健康づくりを推進しています。



8. 心のぬくもりと絆を実感できる社会であること

◆多様な主体との協働による共助社会の推進

企業や NPO 等からの協働の企画案を募集し、両者の面談の場を設定した上で、マッチングを実施しました。

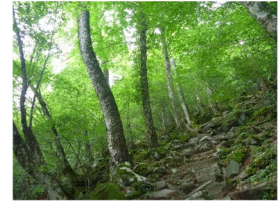
また、県民や企業からの寄附を活用して、NPO 等が市町村や地域コミュニティ・企業など地域の多様な主体と協働して地域課題の解決に取り組む協働事業の実施に要する経費を助成しました。



9. 環境と調和し、快適に暮らせること

◆豊かな自然と生物多様性の保全

耶馬日田英彦山国定公園の英彦山及び犬ヶ岳において、絶滅危惧植物を生態系ごと保護するために、県がシカの捕獲を実施するとともに、絶滅危惧植物の分布・生育状況調査、種子の採取、保存及びシカ防護柵の設置を行いました。



10. 豊かな文化を楽しみ、幅広い分野の国際交流を実感できること

◆世界遺産登録の推進

平成 29 年 7 月に世界遺産に登録された【「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群】について、世界遺産登録実現のため、万全の態勢でユネスコの諮問機関であるイコモスの審査に対応しました。

また、遺産群の価値を広く啓発するため、シンポジウムの開催や動画コンテンツの作成といった広報活動を行いました。



◆ふくおかスポーツ振興プロジェクト

ラグビーワールドカップ 2019 の成功に向けた機運の醸成や開催の準備、キャンプ地誘致、2020 年東京オリンピック・パラリンピック大会のキャンプ地誘致に取り組みました。

オリンピック・パラリンピック出場選手やラグビートップ選手による体験教室の開催等を通じて、子どもの運動・スポーツへの動機付けや習慣化を強化しています。



ふくおか「ふるさと寄附金」トピックス

・寄附金の活用方法をより具体的に選べるようになりました。
平成 29 年度は 15 の事業からお選びいただけます。

・平成 29 年度 お礼の品が 52 品から 68 品に増えました。
あまおう、博多和牛、福岡県の伝統工芸品などが加わりました。

